

4・授業づくり研究課題

< 1・研究課題 >

学校目標である「自己、および自己をとりまく世界を読み解き、それを継承しながら、より良い方向に変革していく意欲と実践力」に必要な学力を培う授業を創る。

< 2・具体的な取組 >

- ①各学年、各教科における「授業規律」（「自然や社会、人や文化などさまざまな対象とのかかわり」の機会をみんなが享受できるための共通の行動基準）の策定とその日常的な追求。
- ②授業研（大研月1回・中研周1回・小研随時）の継続。
- ③授業づくり委員会の活性化。

< 3・指導の重点 >

1・各教科

| | |
|----|--|
| 国語 | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わ、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 |
|----|--|

| | |
|-----|---|
| 社 会 | <p>《地理的分野》社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。</p> <p>《歴史的分野》社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。</p> <p>《公民的分野》現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。</p> |
| 数 学 | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 理科 | <p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。</p> <p>〈 科学的に探究する力を育てるために 〉</p> <p>① 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>② 観察、実験など見通しを持って行い、結果を分析して解釈する力をつける。</p> <p>③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を育てる。</p> |
| 音楽 | <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力をを次のとおりに育成することを目指す。</p> |
| 美術 | <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化をと豊かに関わる資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。</p> |
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、運動の楽しさを味わうことのできる自分を作る。 ・自分の身体に興味・関心を持ち、健康の保持増進のための科学的知識の基礎を身につける。 |
| 技術・家庭 | <p>《技術分野》技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> |
| | <p>《家庭分野》実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基本的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p> |
| 外国語 (英語) | <p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなど理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> |
|--|---|

